

Anaplan

ディジジョン エクセレンスの もたらす影響力

エンタープライズ コネクテッドネスで優れた
財務パフォーマンスを実現する



ディジジョン エクセレンスとエンタープライズ コネクテッドネスが持つ数十億ドル規模の影響力

シニアリーダーは日々、数多くの意思決定を行なっています。重要なのは、こうした決断を最適な結果に確実につなげることです。その実現には、何が必要なのでしょう？

「Anaplan Enterprise Decision Excellence Report™ 2024 (Anaplan エンタープライズ向けディジジョン エクセレンス レポート、2024年)」は、コネクテッドネス、意思決定、および財務パフォーマンスの間の重要な相関関係を明らかにしました。

今回の調査では「エンタープライズ コネクテッドネス」が、意思決定の強化の基礎であり、「ディジジョン エクセレンス」の向上が、株主総利回り (TSR) などの財務リターンの増加に直接つながることに対する説得力のある証拠を初めて提示します。

ディジジョン エクセレンスとエンタープライズ コネクテッドネスの定義

米国、英国、カナダの最大手 1,000 社のシニア エグゼクティブ 500 人を対象に調査を実施。さらに 20 人以上に対して詳細なインタビューを行い、5 万件以上のデータポイントを収集しました。

今回の調査は、意思決定パフォーマンスと組織のコネクテッドネスの相関関係に焦点を当てました。ディジジョン エクセレンス指数とエンタープライズ コネクテッドネス指数を作成し、0 ~ 100 のスケールで調整した定量化可能なスコアを提供し、データを照合、比較、対比するために両指数に各組織をプロットしました。

エンタープライズ コネクテッドネス指数

企業が意思決定とオペレーションをどの程度
連結またはリンクさせているか

縦方向のコネクテッドネス

戦略計画と日々のオペレーションとの連動はどの
程度あるか

横方向のコネクテッドネス

データ、システム、プロセスは、どの程度、機能や事業部
門を横断して統合されているか

外部とのコネクテッドネス

顧客インテリジェンスやサプライヤーのインサイトを
活用し、行動する能力はどの程度あるか

ディジジョン エクセレンス指数

情報に基づいた効果的な意思決定を行う
企業の能力

意思決定の質

意思決定はデータに基づき、正しい視点に裏打ちされ、
行動に移されているか

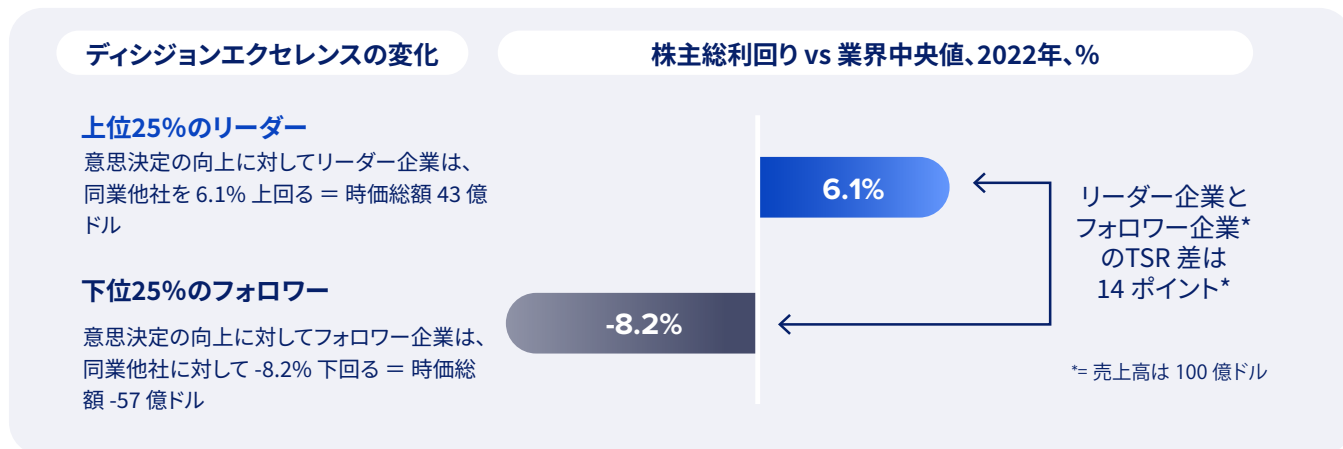
意思決定のスピード

社内の適切なレベルで意思決定が行われ、重要なこと
に焦点が当てられているか、意思決定のための明確な
経路やプロセスがあるか

意思決定の効率

意思決定にどれだけの時間が費やされ、意思決定の
会議はどれだけ生産的か

ディンジョン エクセレンスにおいて最も向上した企業は、TSR で同業他社を 6.1% 上回り、これは時価総額で 43 億ドルに相当します。ディンジョン エクセレンスの向上に遅れをとっている企業は、同業他社に比べて -8.2%、すなわち 57 億ドル少ない結果となりました。つまり、TSR には 14 パーセント ポイント、すなわち 100 億ドルという大きな差が生じています。

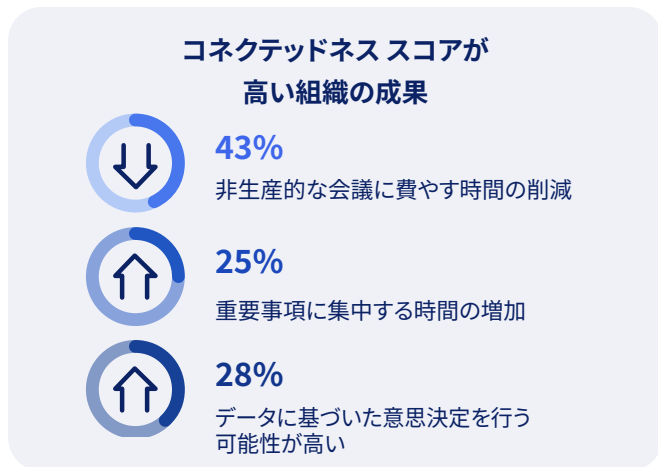


組織全体で意思決定プロセスを改善

今回の調査で、エンタープライズ コネクテッドネス指数のスコアが高い組織は、ディンジョン エクセレンス指数のスコアも高いという直接的な相関関係があることがわかりました。さらに、連携の強い企業は、特定の分野だけではなく、ディンジョン エクセレンス指数全体を通じて優れています。

内部および外部とのコネクテッドネス

エンタープライズ コネクテッドネス指数で高いスコアを獲得した組織は、社内外のつながりが著しく高く、ビジネスに影響を与える外部要因を回避し、よりアジャイルに行動することができます。また、連携が強化され、より高いレベルのリアルタイム監視を実施できるようになり、市場の変化に合わせて方向転換できるようになります。



結論

「Anaplan Enterprise Decision Excellence Report™ 2024 (Anaplan エンタープライズ向けディンジョン エクセレンス レポート、2024年)」は、米国、英国、およびカナダの最大手 1,000 組織における、コネクテッドネス、意思決定、及び財務パフォーマンスの間の重要な相関関係を明らかにします。業績を上げている企業とそうでない企業との間に 100 億ドルもの TSR の差があることは、意思決定パフォーマンスと優れた財務利益を促進する上で、コネクテッドネスが極めて重要な役割を果たしていることを証明しています。

i 2022 年の TSR を同業種または類似業種の企業平均に対して相対的に評価し、異なる業種グループの株式上昇率の差の影響を正規化しました。



企業の意思決定を再定義する取り組みと、Anaplan がどのようにディンジョン エクセレンスの可能性を実現できるのか、レポートをご確認ください。 Anaplan.com/jp/resources/research-report/enterprise-decision-excellence-2024/